

人間の生活に道具は欠かせない。道具の歴史は進化の歴史でもあり、知恵の結晶だ。特に職業人、プロが使う道具となると、そこには大きな「使う価値」と「理由」がある。その種類も膨大だ。木材関連の業界を見渡しても、チェーンソーやナタ、架線などの林業用の道具、市場で活躍するフォークリフト、各種の大工道具、そして今や標準的な存在となったスマートフォンやタブレットなども情報処理に特化した道具といえよう。今回は、様々な業種・企業で使われている道具について、使用者のこだわりも含めて紹介していく。

シンプル架線実現する「HANAKO A2」 使いやすい軽量の搬器 森の機械

森の機械（岐阜県関市、広瀬幸泰社長）は、林業架線の技術を活用した山仕事用の軽量搬器「HANAKO A2（ハナコエーツー）」を販売している。シンプル架線のブレーキ付き搬器で、動力ひとつで動くのが特徴だ。広瀬社長自身も危険木の除去などで使用し、軽量性や使いやすさなどで太鼓判を押す。今後は林産業から果樹農業、造園業、里山活動団体など幅広い対象へ情報発信を進めていく考えだ。

ハナコは、スイングヤーダなど高性能林業機械を使用せず動力一つで原木の昇降や移動ができる搬器として2019年4月に発売。動索の張力で固定索をクランプして制御する仕組み（特許取得済み）を搭載し、単引きで上げ荷・下げ荷いずれの斜面でも端（はな）上げや宙づりの運搬が行える搬器として注目を集めた。

現行機のA2は、ジュラルミン（アルミ合金）構造により大幅な軽量化

最新モデルの「HANAKO A2」



を実現しており、女性が担いでセットできるレベルに。また、ブレーキを交換式にしたことでワイヤロープだけでなく繊維ロープにも対応し、ユーザーの要望に応えた。重機が入れない場所でも上げ荷、下げ荷、水平運搬、端上げ、宙づりが可能。標準で1～3倍力

に対応しており、重量物を搬送できる。固定索のワイヤ径は6～12^{mm}（繊維ロープ9～16^{mm}）に対応している。用途は、集材経路が制限される里山や公園などでの危険木除去のほか、間伐作業の支援、薪炭林材や木工用材の搬出、森林環境教育や木育の集材ワークショップ用などだ。

こだわりの仕事道具



木質建材には品質性能の確かなJASマーク製品をおすすめします！
構造材・内装材に、家具などの木製品に、より安心・安全にご利用いただくために。

日本農林規格登録認証機関として国内外の木質建材製造工場のJAS認証を行っています。

木質建材試験検査機関として全国7か所の検査所と研究室で、各種木質建材のホルムアルデヒド放散量試験、接着性能、曲げ強度等の一般依頼試験、受託試験を行っています。

クリーンウッド法登録実施機関として合法木材等の利用確保措置を確実に行う木材関連事業者の審査、登録を行っています。

JPIC-ew

公益財団法人 日本合板検査会

JAPAN PLYWOOD INSPECTION CORPORATION

理事長 測 上 和 之

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-7-19

TEL (03) 6810-8710 FAX (03) 6810-8711

URL <https://www.jplic-ew.net/> E-mail: info@jplic-ew.or.jp

「大切な思い出を蘇らせたい」

劣化した木部を再生するAIR鉋 東野材木店

東野材木店(大阪市、東野壮也社長)の「こだわりの仕事道具」は「AIR鉋(エアークラウ)」だ。同社は2022年2月、事業再構築補助金を活用した木の再生事業を開始。「大切な思い出が宿る木製品を蘇らせませんか？」を合言葉に、劣化した木部をAIR鉋で再生させ、木材の長寿命化を図る事業を展開している。施工は協力体制を敷く藤木工務店(大阪府和泉市、藤木剛社長)が中心となって実施している。

AIR鉋工法は、空気と粉体を混合して対象物に噴射することで、様々な加工された木材の汚れや腐朽菌・劣化層、古くなった既存の塗膜を隅々まで取り除くことができる。水を使わず木で木を洗う乾式工法で、従来の手法で必要となる「払う」「削る」「剥ぐ」「粗す」の4工程が一度に済み、工期が大幅に短縮される。また、AIR鉋は事故リスクを排除した専用装置のため安全に作業できるうえ、噴射する粉体は植物由来で人体への害がない。

本来、木部再生は美装業界の仕事で、それゆえAIR鉋工法の施工を行うのは同業界の企業や職人が多い。そんななか、同社が木材業界からの数少ない施工代理店として名を連ねたのは、ある保育施設の訪問がきっかけだった。同施設の理事長から「木製家具や遊具の納入業者が定期点検に全く来てくれない」という話を聞いた東野社長は、木を使った家具や遊具が手入れされずに腐敗・劣化していくのを見てごせなかった。

AIR鉋事業を始めて以降、同社は大阪府内の保育施設にある木製屋外遊具の再生で実績を重ねている。また、AIR鉋の施工を木製家具などでも気軽に利用してもらうため、自社倉庫の一面に大阪府産木材を使った「AIR鉋ルーム」を設置。さらに、イベントでデモンストレーションを行うための「ミニAIR鉋セット」も常備した。東野社長は「思い出は大切にしたい」との気持ちで、AIR鉋の普及をさらに進めていく考えだ。



ミニセットでデモンストレーションを行う東野社長

■ 検査所及び研究室

- 北海道検査所
- 東北検査所
- 東京検査所
- 名古屋検査所
- 大阪検査所
- 中国検査所
- 九州検査所
- 研究室

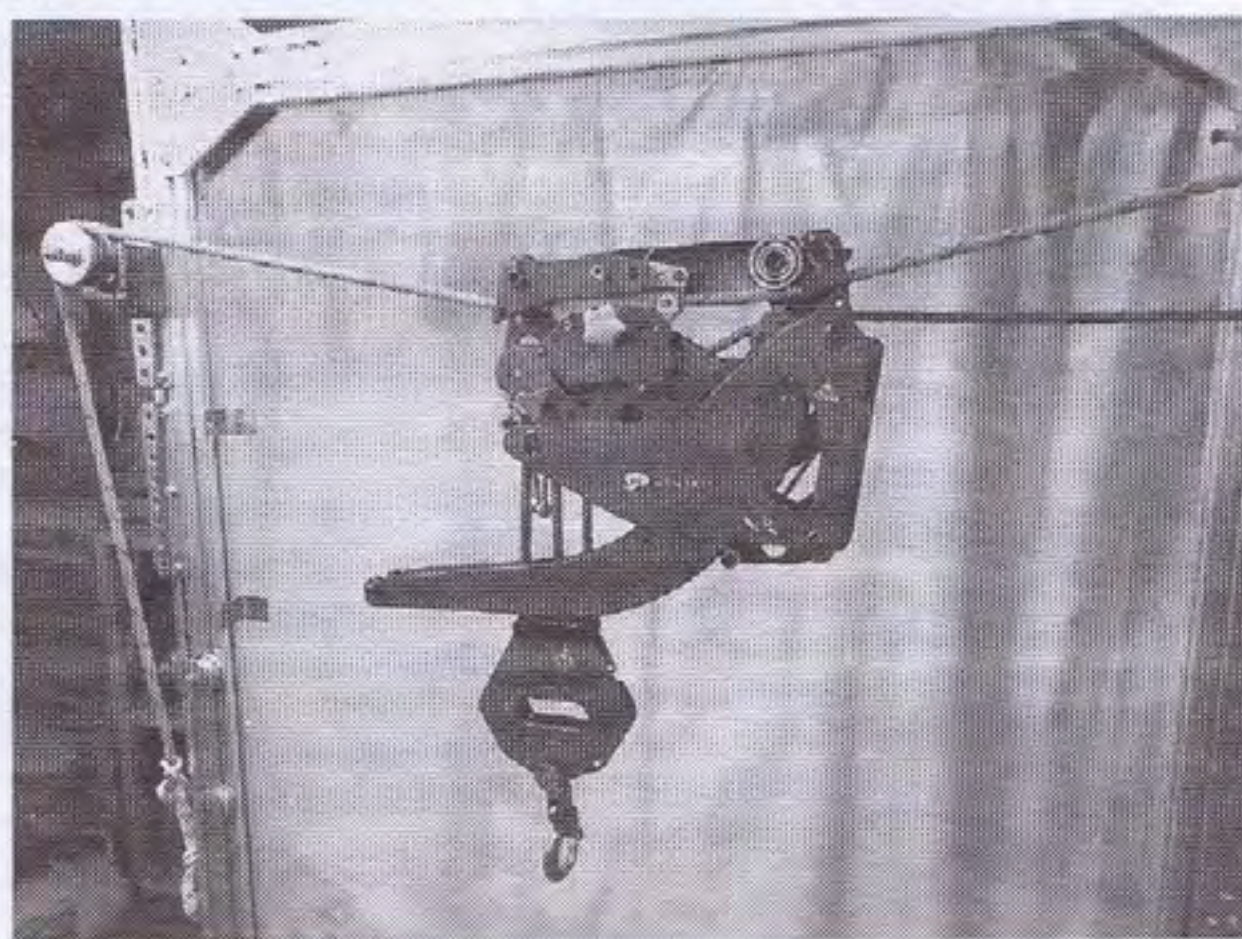
人間の生活に道具は欠かせない。道具の歴史は進化の歴史でもあり、知恵の結晶だ。特に職業人、プロが使う道具となると、そこには大きな「使う価値」と「理由」がある。その種類も膨大だ。木材関連の業界を見渡しても、チェーンソーやナタ、架線などの林業用の道具、市場で活躍するフォークリフト、各種の大工道具、そして今や標準的な存在となったスマートフォンやタブレットなども情報処理に特化した道具といえよう。今回は、様々な業種・企業で使われている道具について、使用者のこだわりも含めて紹介していく。

シンプル架線実現する「HANAKO A2」 使いやすい軽量の搬器 森の機械

森の機械(岐阜県関市、広瀬幸泰社長)は、林業架線の技術を活用した山仕事用の軽量搬器「HANAKO A2(ハナコエーター)」を販売している。シンプル架線のブレーキ付き搬器で、動力ひとつで動くのが特徴だ。広瀬社長自身も危険木の除去などで使用し、軽量性や使いやすさなどで大鼓判を押す。今後は林産業から果樹農業、造園業、里山活動団体など幅広い対象へ情報発信を進めていく考えだ。

ハナコは、スイングヤーダなど高性能林業機械を使用せず動力一つで原木の昇降や移動ができる搬器として2019年4月に発売。動索の張力で固定索をクランプして制御する仕組み(特許取得済み)を搭載し、単引きで上げ荷・下げ荷いずれの斜面でも端(はな)上げや宙ぶりの運搬が行える搬器として注目を集めた。

現行機のA2は、ジュラルミン(アルミ合金)構造により大幅な軽量化を実現しており、女性が担いでセットできるレベルに。また、ブレーキを交換式にしたことでワイヤロープだけでなく繊維ロープにも対応し、ユーザーの要望に応えた。重機が入れない場所でも上げ荷、下げ荷、水平運搬、端上げ、宙ぶりが可能。標準で1~3倍力に対応しており、重量物を搬送できる。固定索のワイヤ径は6~12mm(繊維ロープ9~16mm)に対応している。用途は、集材経路が制限される里山や公園などでの危険木除去のほか、間伐作業の支援、薪炭林材や木工用材の搬出、森林環境教育や木育の集材ワークショップ用などだ。



最新モデルの「HANAKO A2」

こだわりの仕事道具



広い空間、高い耐震等級。

設計の可能性が広がっていく。

国土交通大臣認定取得
国産合板による

高強度耐力壁

木造
軸組
構法

9mm全層カラマツ

壁倍率 5.0

9mm全層ベイマツ

壁倍率 5.0

12mm(樹種問わず)

壁倍率 4.7

主な仕様と倍率

構造用合板の 厚さと樹種	合板の留め付け方			壁倍率	認定番号
	くぎ	間隔(mm)	緑端距離 (mm)		
9mm全層カラマツ	CN65	外周	中通り	5.0	FRM-0710
9mm全層ベイマツ	又は CNZ65	75	200	5.0	FRM-0709
12mm樹種問わず				4.7	FRM-0711

東北合板工業組合・東京合板工業組合

<https://www.ply-wood.net/>

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-21-2 TEL: 03-5214-3636 FAX: 03-5214-3660 E-mail: info@ply-wood.net